

2024年度 佐久大学看護学部4年次生卒業時アンケート実施報告

I. 目的

本学看護学部の教育内容、教育等環境についての満足度等を調査する。

II. 調査主宰

看護学部自己点検評価部会（学部長、学科長、教務委員長、学生委員長）

III. 調査対象

看護学部4年生 80名

IV. 調査方法

1) アンケート調査

学修支援システム manaba のアンケート機能を使用し調査を実施する。回答時間は10分程度。

2) 調査日時

実施日 2025年2月28日（金）

卒業時ガイダンスの時間に学生に依頼して、その場で回答を求める。

データ収集期間：2月28日（金）～3月7日（金）

V. 調査内容

- 1) ディプロマ・ポリシーに関する習得状況
- 2) 学習姿勢
- 3) 実習状況および満足度
- 4) 国家試験支援への満足度
- 5) 学習環境、生活支援への満足度
- 6) COVID-19 感染対策の満足度
- 7) 図書館の利用について
- 8) 大学への要望等

VI. 調査結果

対象者数 80 名、回答数 75 名、回収率 93.7%であった。

まとめ

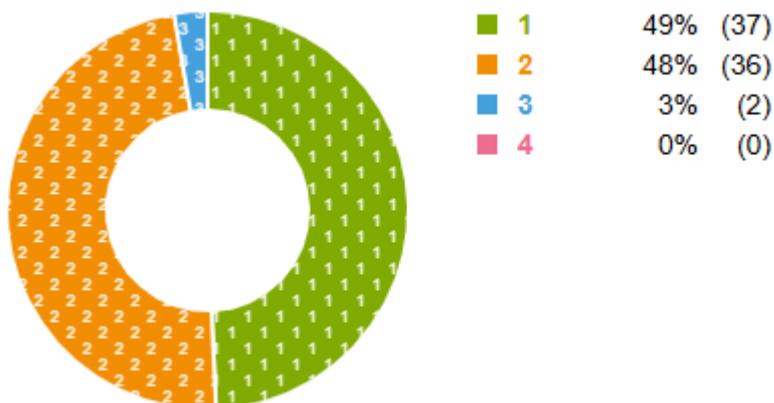
1. 【全体】「とてもそう思う」、「そう思う」と肯定的な評価をしている学生は、おおむねの項目で 80%代、90%代であった。
2. 【DP の達成度】ほぼ全ポリシーにおいて、肯定的な評価をする学生が 90%後半代であった。90%を切る DP は「国内外の地域特性と文化的多様性を理解し受け入れ貢献する態度を身につけている」の 1 項目であった。
3. 【学生の学習姿勢（学生支援）】を問う内容では、「DP を意識して学修した」と答えている学生は 78%、「シラバスを活用して授業に参加した」という学生は 89%であった。また、「授業外で学習に取り組んだ」という項目についても 90%を下回っている。
4. 【学修経験・学修の満足度】すべて 90%以上が肯定的評価をしている。
5. 【実習】実習における教員や病院の指導者のかかわりについて、また、実習成果（態度、判断力が身に付いた）についても、肯定的な回答を示す学生は 90%後半を示している。
6. 【国家試験対策】 教員による学習支援、医師による補習講座についての評価は、90%後半の学生が肯定的であった。全国公開模擬試験の受験回数（肯定的評価 79%）、タイミング等については、肯定的評価は 80%弱～80%代にとどまっている。
7. 【補習授業】47 名の学生が参加した。参加回数は、1 回から全参加までで、3 回参加が 10 名と 1 番多かった。全回(19 回)参加は 2 名であった。授業内容の満足度について、肯定的に評価する学生は 95%であった。
補習授業に参加しなかったものの理由は、「自分のやり方で進める方が良い」「距離が遠い、交通費が負担」等が挙げられた。
8. 【学生生活】「学び場」を利用した経験のある学生は、7 割弱であり、利用した学生の満足度はおおむね良好であった。そのほか、教職員の対応、健康面への支援体制等については、ほぼ 90%以上の学生が肯定的な評価をしていた。
*「学び場」は、本学の学修支援の一つで、【書く力のコース】と【計算力コース】の 2 つのコースを設けて、週 4 日、希望する学生に個別に指導を行っています。
9. 【学生生活】学習環境についてもおおむね良好な評価が見られた。
10. 【図書館】すべての項目で 90%の肯定的評価が見られる。

回答

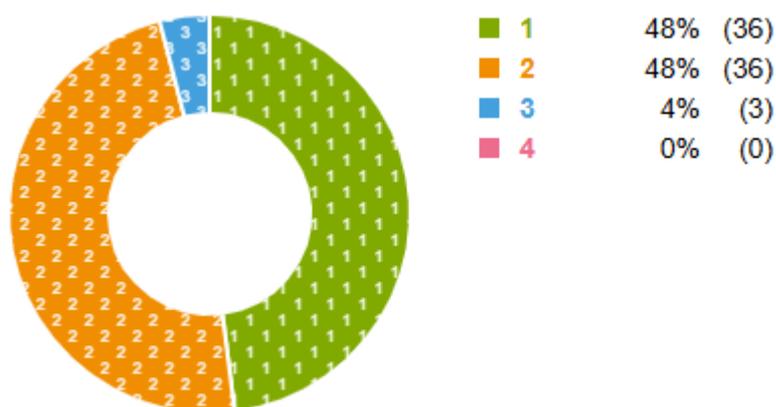
回答肢：1. とてもそう思う 2. そう思う 3. あまり思わない 4. 思わない

I ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に関して、どのくらい習得できましたか

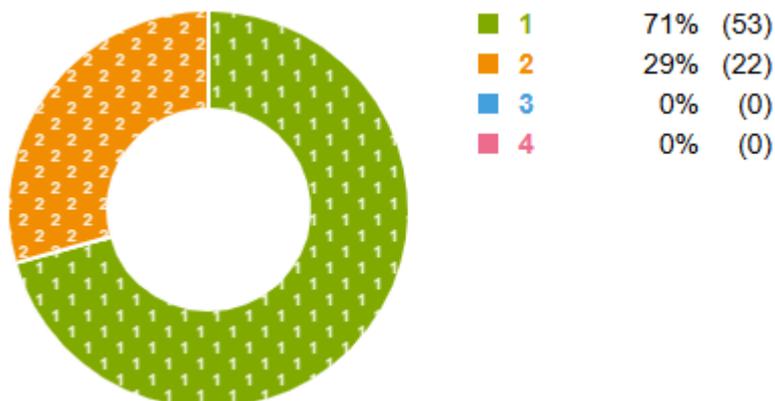
1)豊かな人間性と人間理解を支える幅広い教養を身につけている



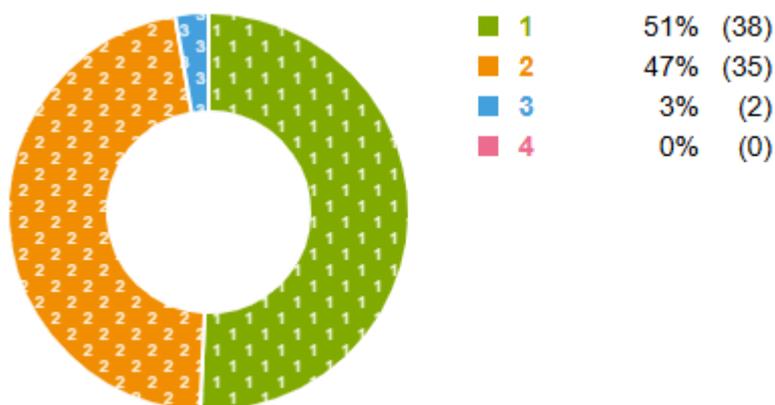
2)自律的に学習し続ける態度を身につけている



3)生命を尊重し擁護する責任と役割を自覚することができる



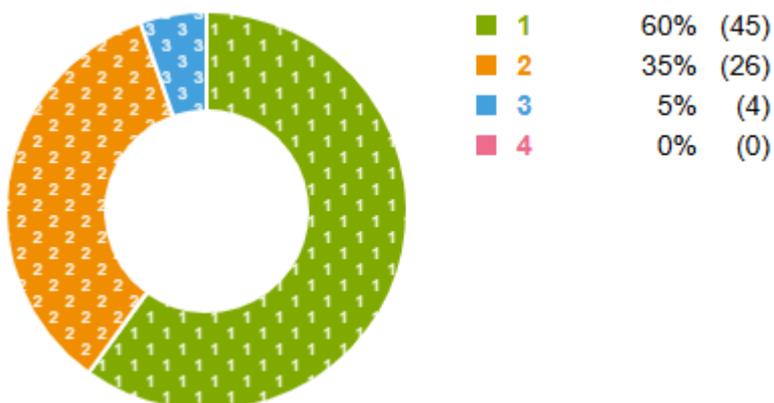
4)看護学の基本的知識と技術を活用し実践の力へと高める努力ができています



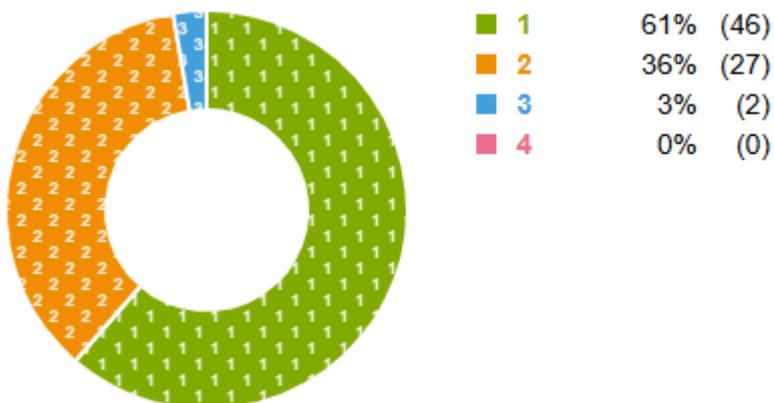
5)国内外の地域特性と文化的多様性を理解し受け入れ貢献する態度を身につけている



6)対人関係の基本として意見や考え・感情を受け取り伝え合うことができる

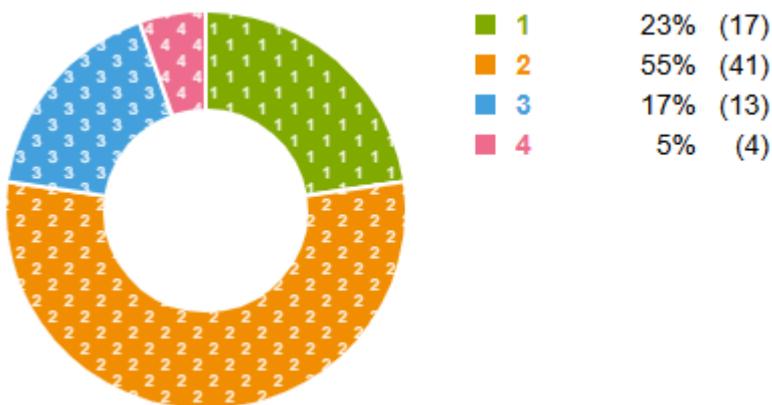


7)多職種との協働において看護職者としての役割を自覚し行動できている

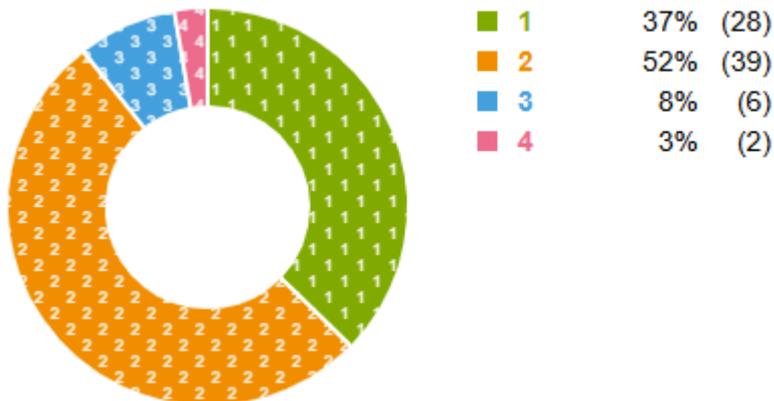


II-1 教務関係 (学修姿勢)

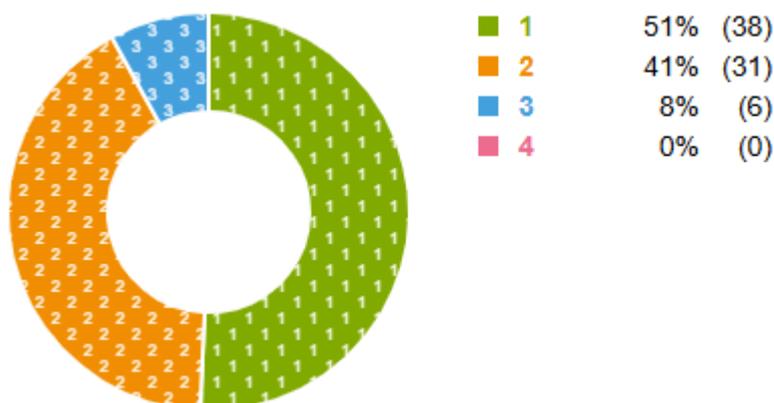
1)ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) を意識して学修した



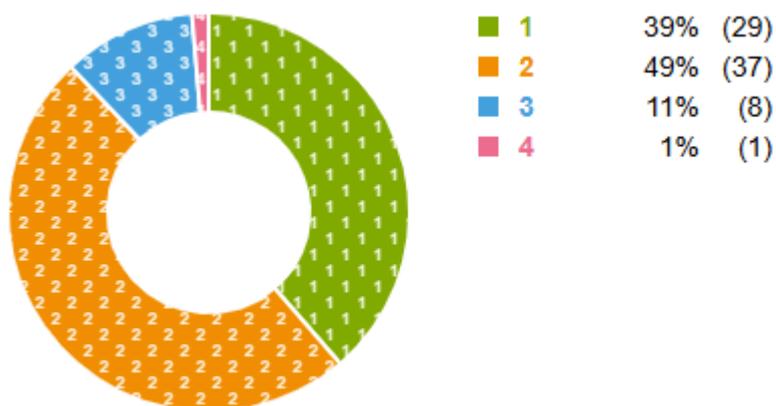
2)シラバスを活用して授業に臨んだ



3)1つの科目で学んだことを他の科目に関連付けて考えた

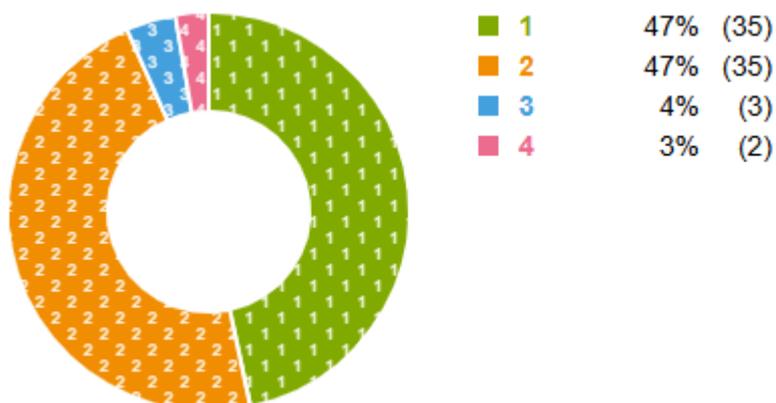


4)授業外学修（課題や予習・復習）に取り組んだ

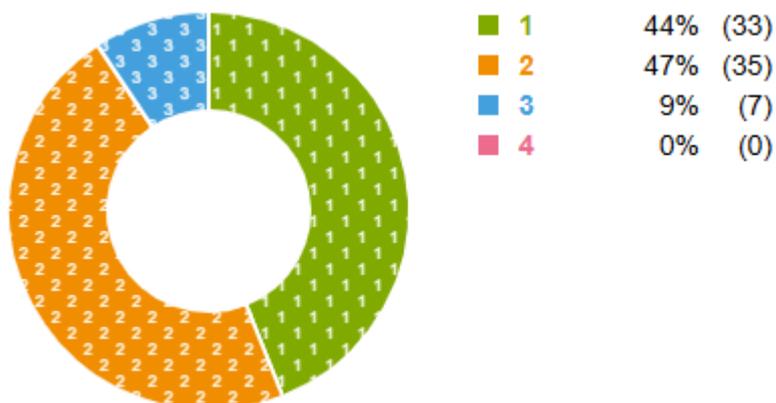


II-2 教務関係（学修経験）

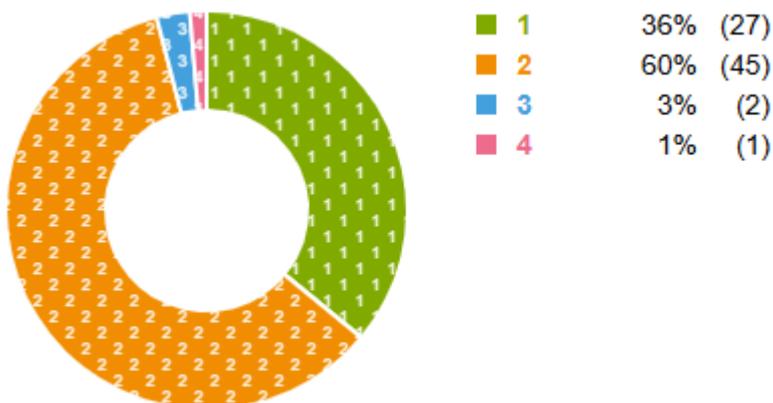
5)能動的学修（グループ討議など、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、能動的な学修への参加を取り入れた授業）では、主体的に学べた



6)manaba の活用により学びの幅や深まりが促進された

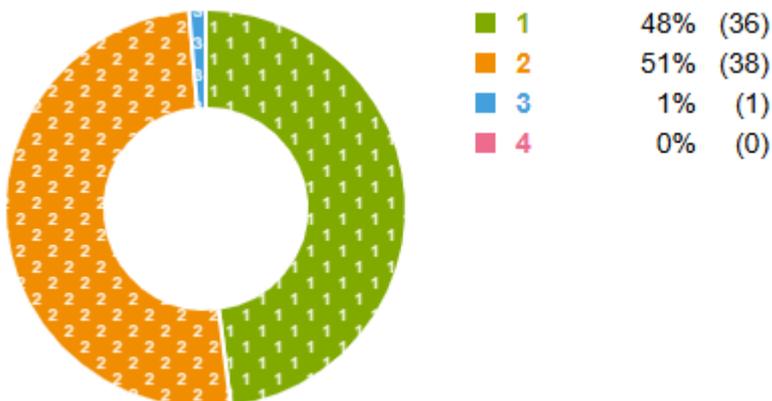


7)教員からのフィードバックは適切であった

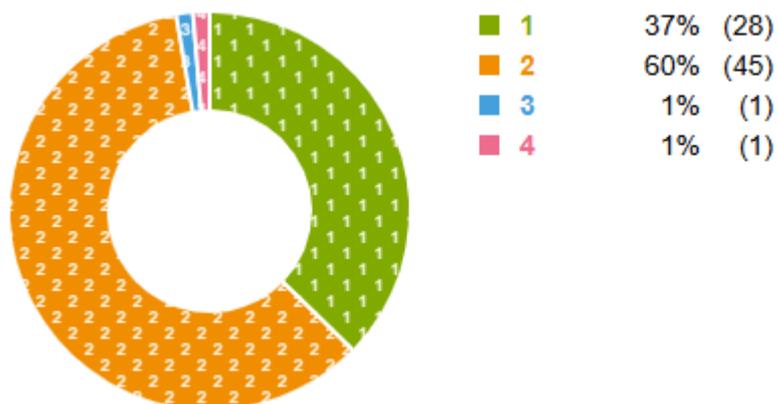


II-3 教務関係 (学修の満足度)

8)授業を通じて知識・スキルが身につき成長できた

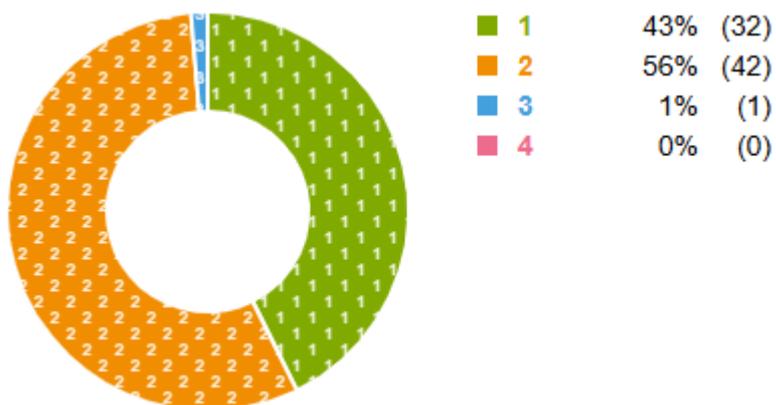


9)本学での学びは、入学時に期待していた通りだった

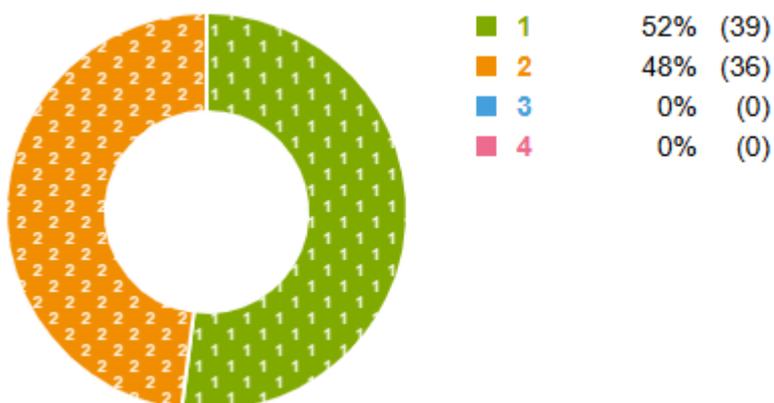


II-4 教務関係 (実習について)

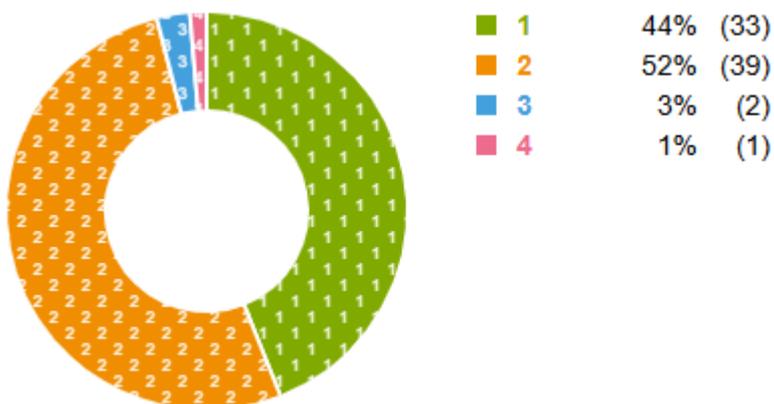
10)実習で教員から適切な指導やアドバイスを受けられた



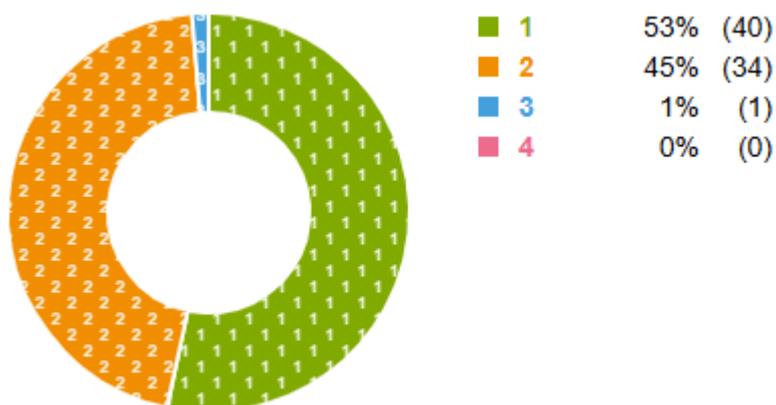
11)実習で実習指導者から適切な指導やアドバイスを受けられた



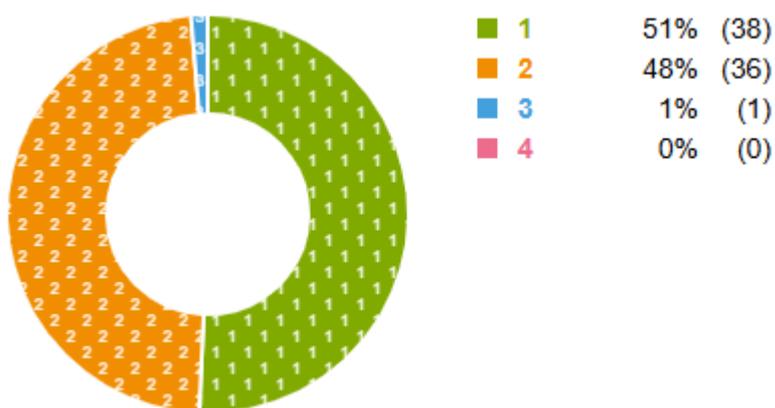
12)実習場所の環境は良好であった



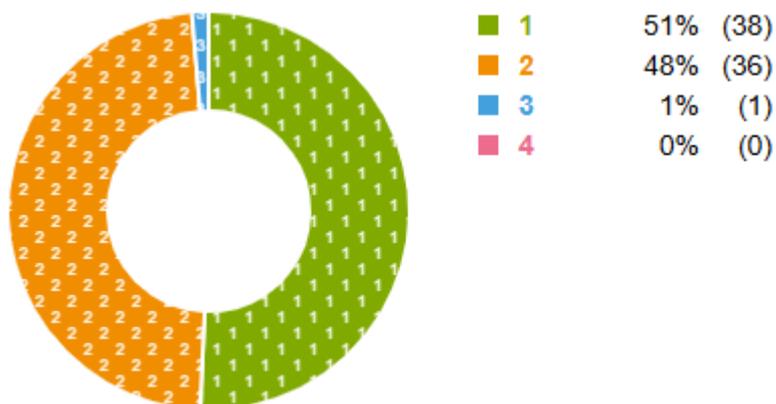
13)実習を通して臨地における看護職としての態度が身についた



14)実習を通して臨地における看護職としての基礎的な判断力が身についた



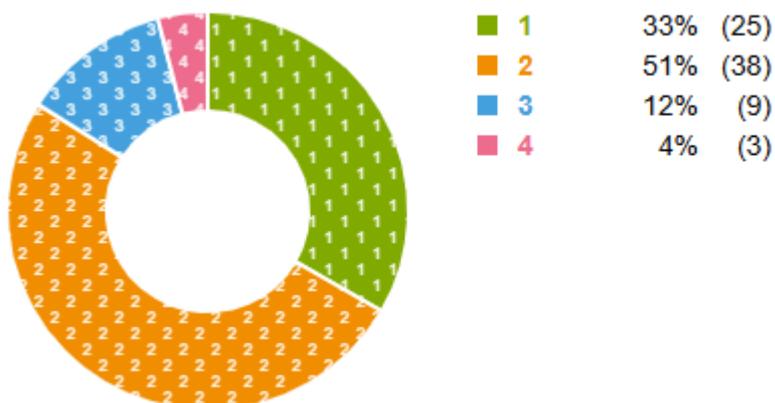
15)実習を通して臨地における看護職としての基礎的な実践力が身についた



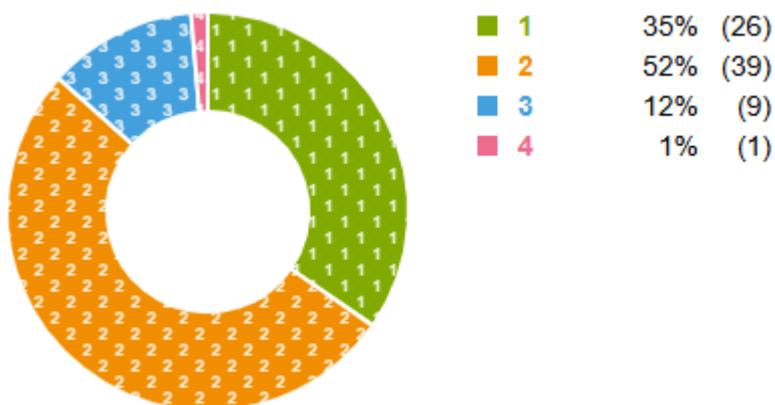
II-5 教務関係（国家試験支援）

【看護師】

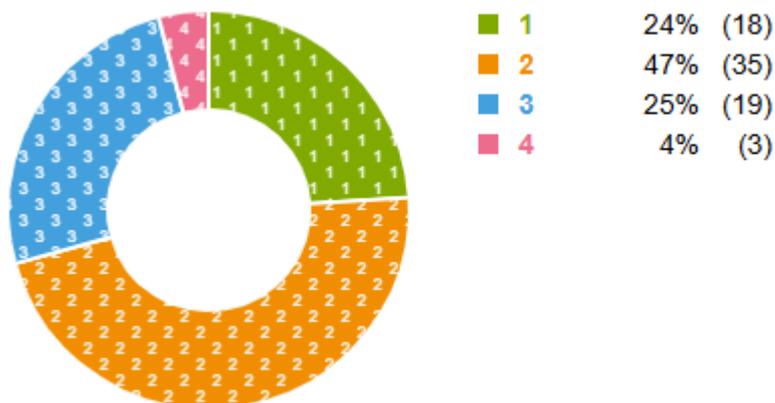
16)全国公開模擬試験の受験回数は適切であった



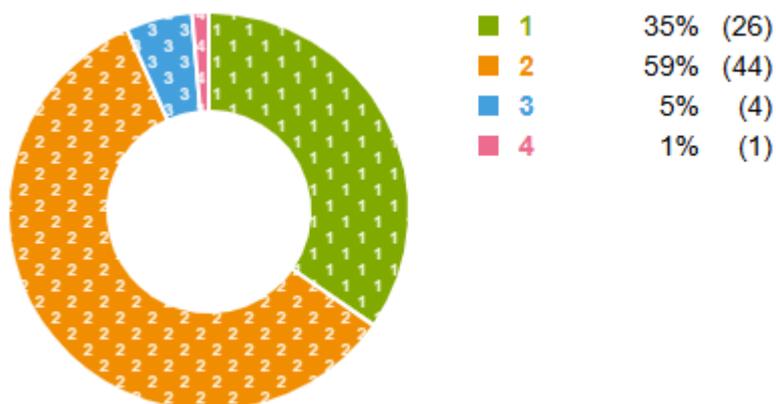
17)全国公開模試の開催時期は適切であった



18)1年次から継続した国試対策の内容は適切であった

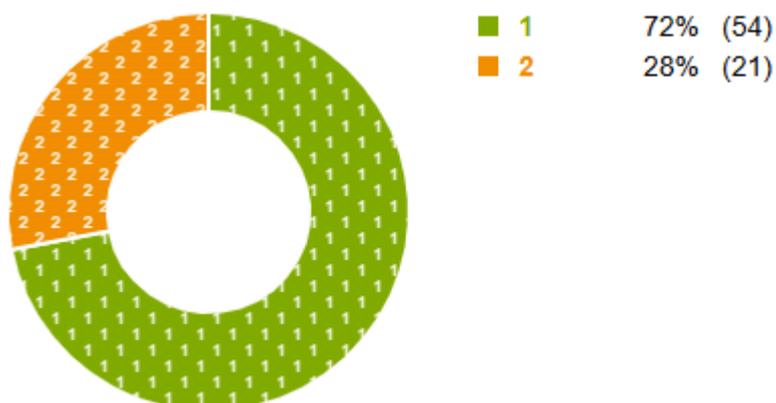


19)教員による国家試験に関する学習支援（相談、学習指導）は適切であった

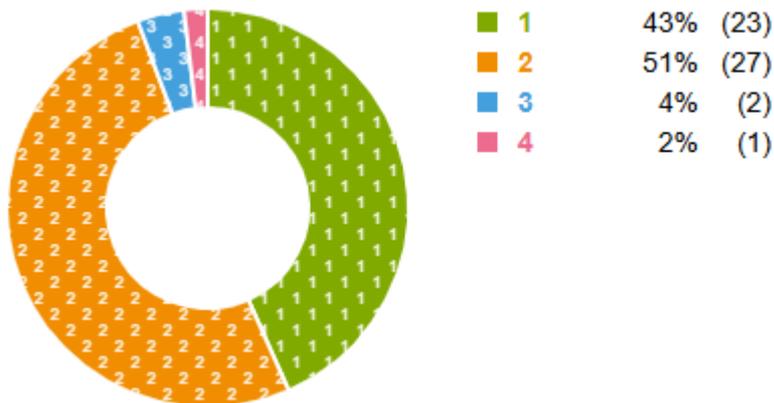


20)国試へ向けた補習講座（学外・任意）に参加した

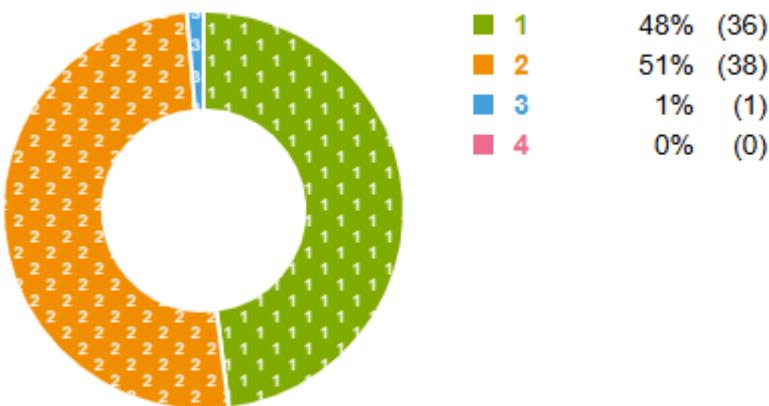
回答 1：はい 2：いいえ



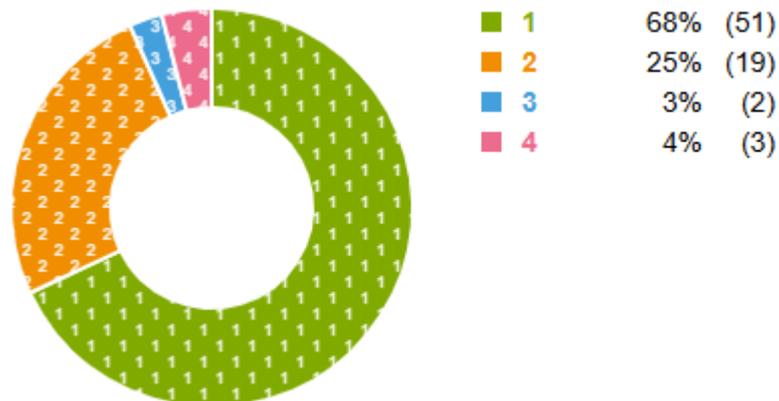
① 「『はい』と回答した人」国試へ向けた補習講座の内容は適切であった



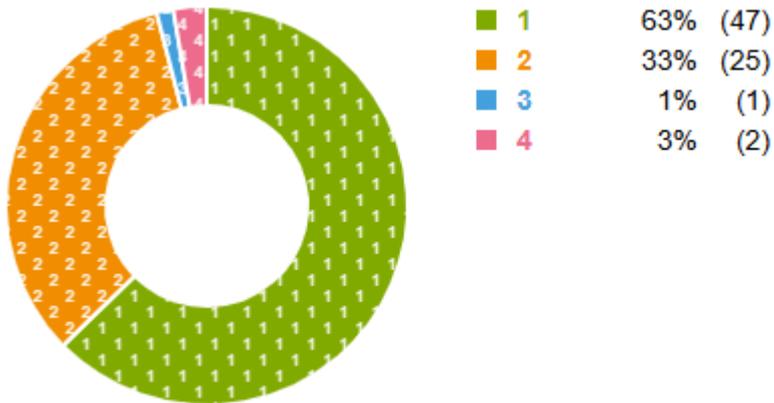
21)国家試験受験に関するオリエンテーションの内容は適切であった



22)国家試験受験時の交通手段（大学－ホテル、ホテル－試験会場）に関する支援は適切であった

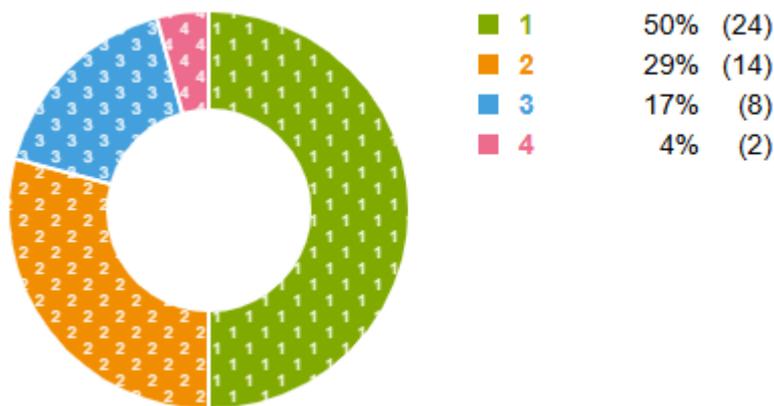


23)国家試験受験時の宿泊に関する支援は適切であった

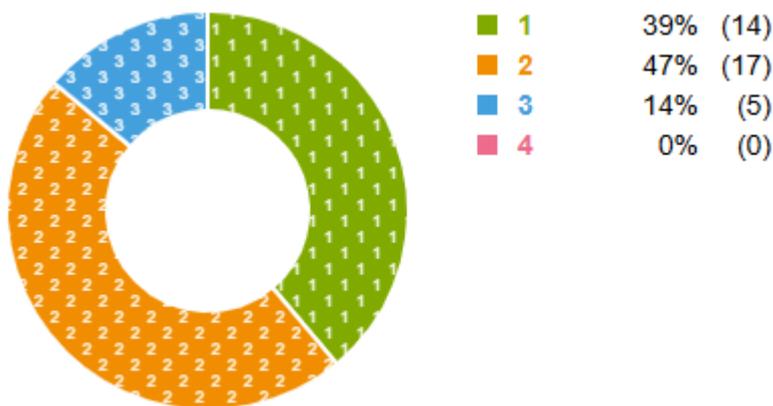


【保健師】

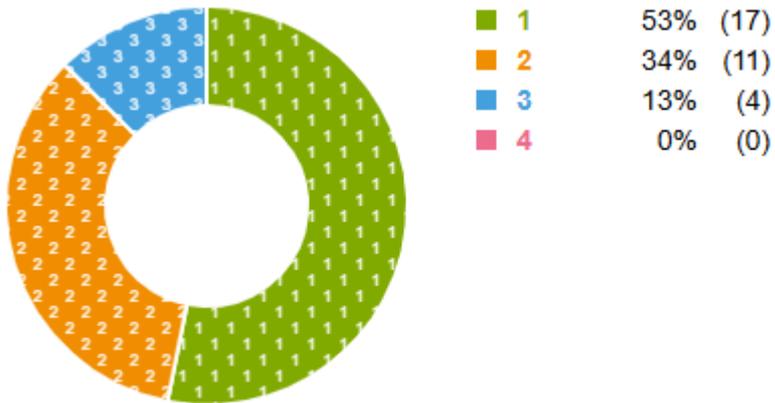
24)全国公開模擬試験の受験回数は適切であった



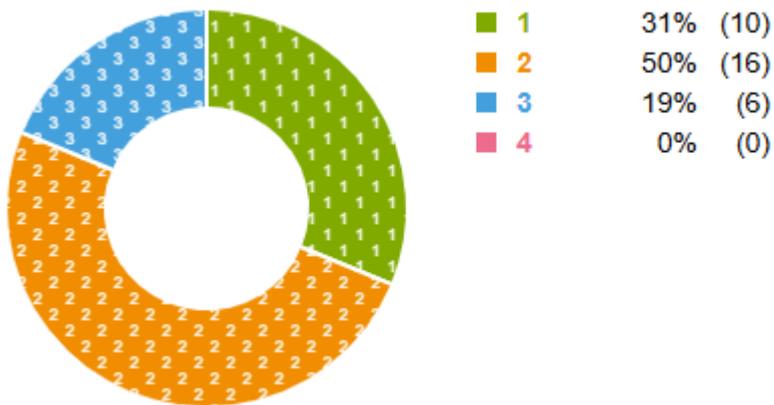
25)全国公開模試の開催時期は適切であった



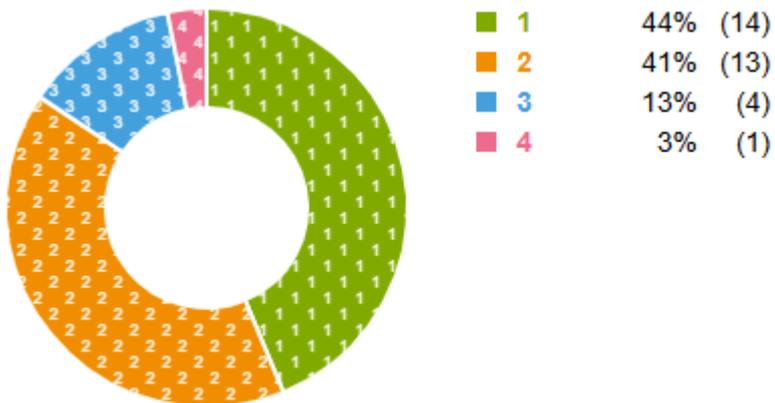
26)業者による国試対策の内容は適切であった



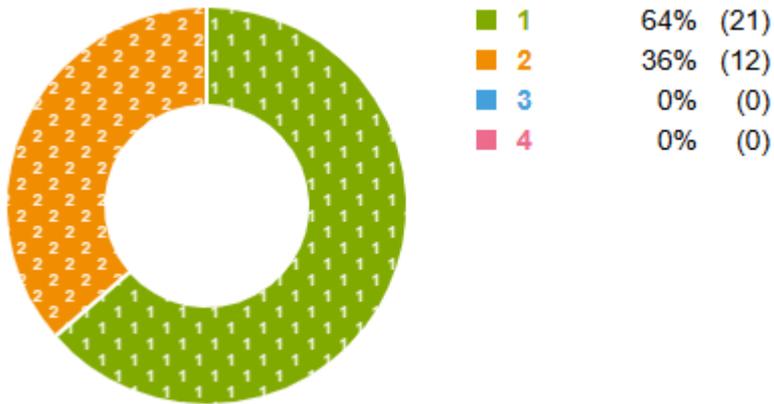
27)業者による国試対策の回数は適切であった



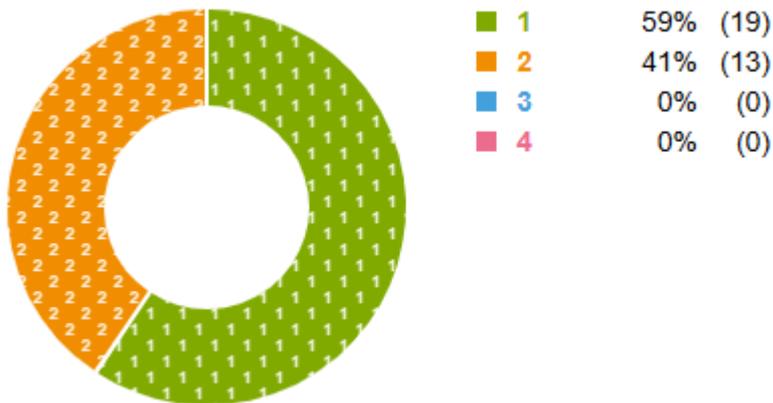
28)国家試験受験に関するオリエンテーションの内容は適切であった



29)国家試験受験時の交通手段（大学－ホテル、ホテル－試験会場）に関する支援は適切であった

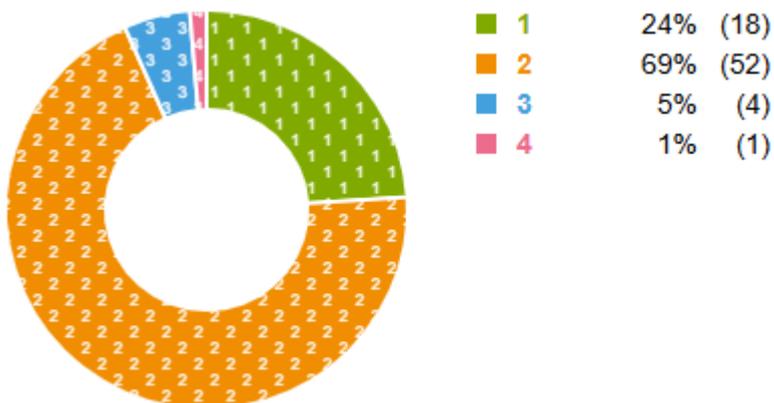


30)国家試験受験時の宿泊に関する支援は適切であった



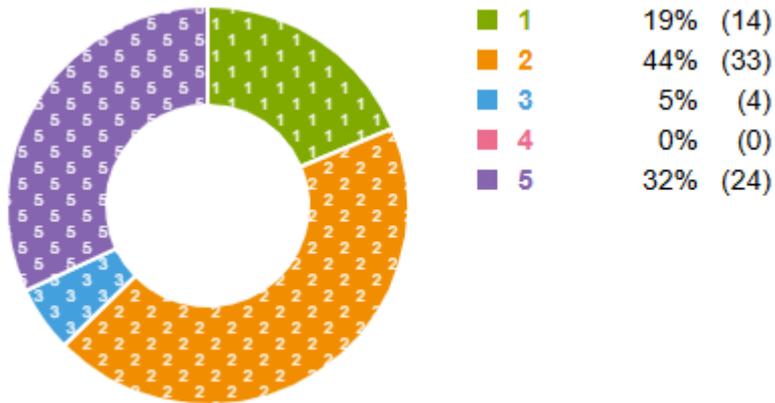
III 学生生活（大学生活に関する満足度）

1)授業を受ける環境について

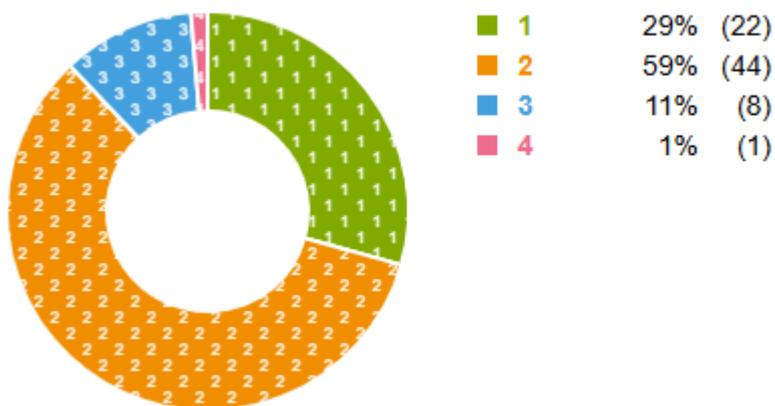


2)学習支援「学び場」について

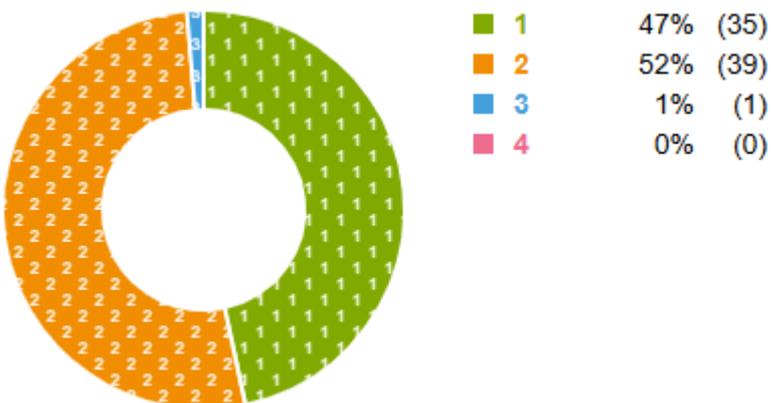
回答肢： 1. とても満足している 2. 満足している 3. あまり満足していない
4. 満足していない 5. 利用しなかった



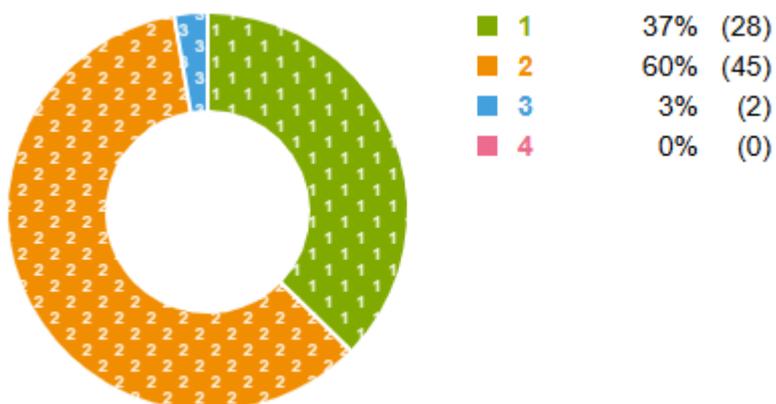
3)「キャリア開発支援プログラム」について



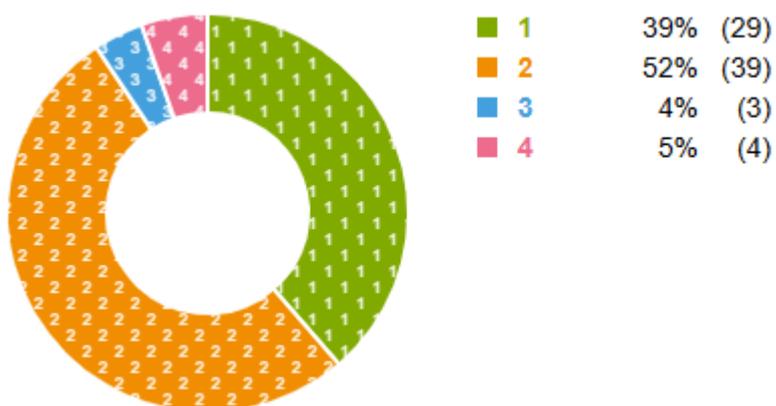
4)事務室の学生対応について



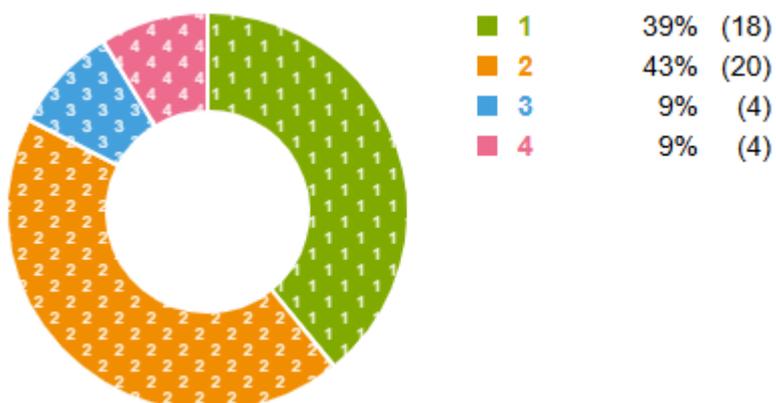
5)教員の学生対応（相談）について



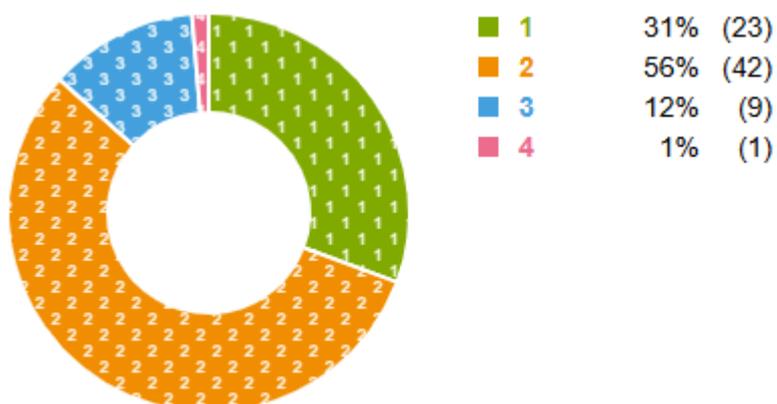
6)グループ担当制度について



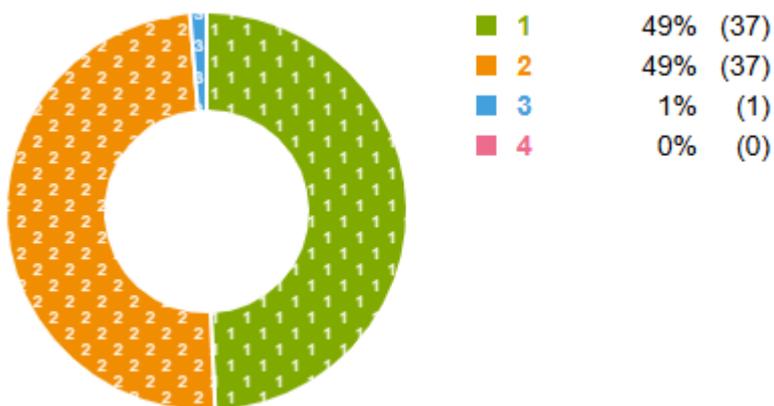
7)クラブ・サークルの活動参加について【該当者のみお答えください】



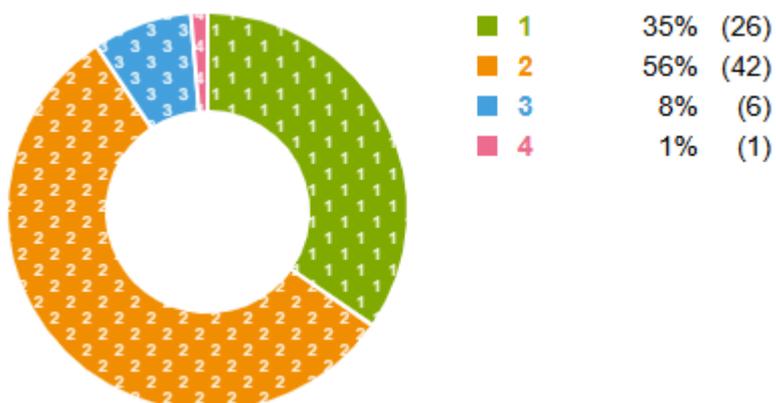
8)大学生活の中で交友関係を広げたり深めたりする機会について



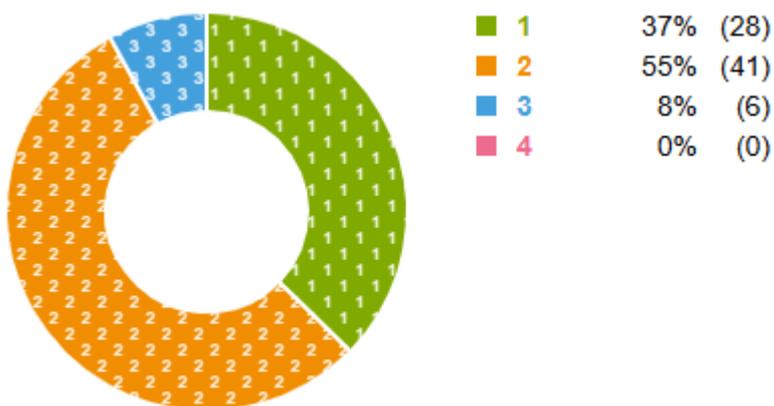
9)身体的健康の支援体制（保健室や健康診断など）について



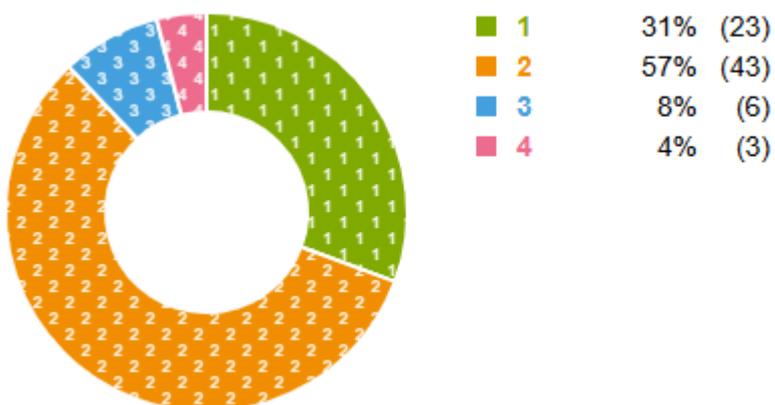
10)精神的健康の支援体制（困った時の相談先やカウンセリングなど）について



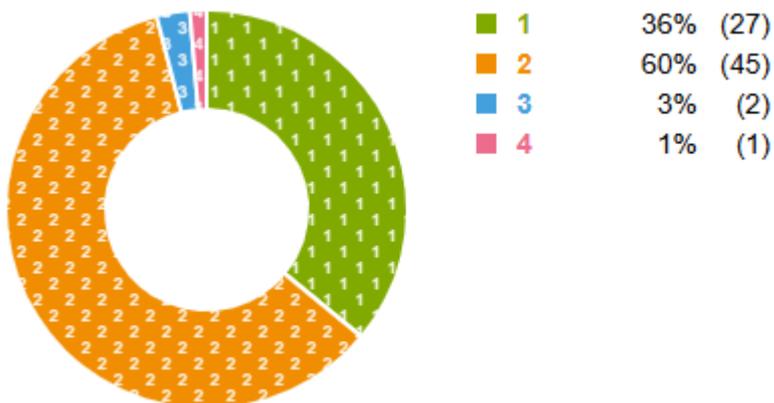
11)奨学金やアルバイト紹介などの経済、生活面の相談支援について



12)授業時間外に学内でのくつろげる場所について



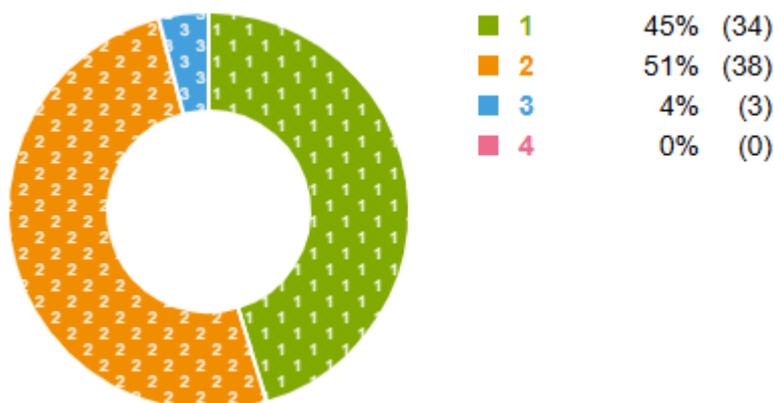
13)総合的にみて、この大学での学生生活について



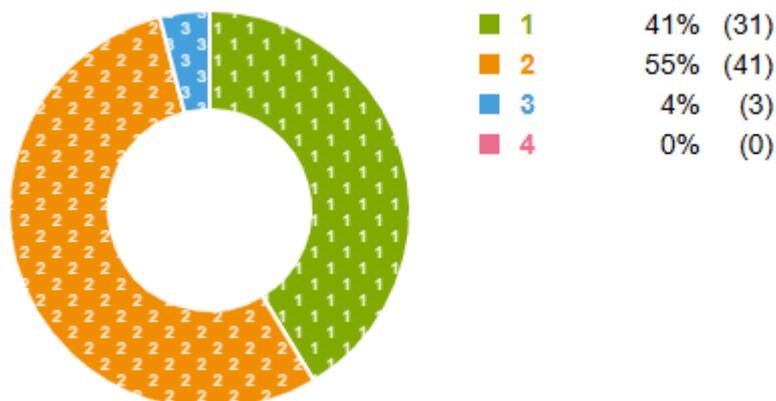
IV COVID-19 感染対策、その他（就職支援）

COVID-19 は、令和 5 年 5 月に 5 類に変更となりましたが、それ以前の皆さんが 1・2 年次時の本学の COVID-19 感染対策についてお尋ねします。

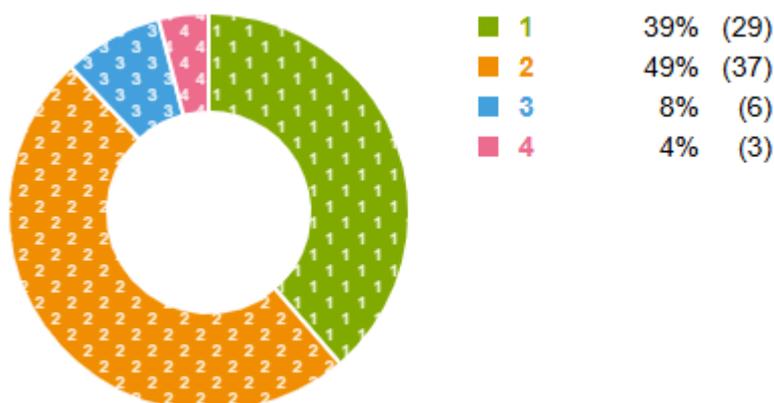
1)大学からの情報発信は適切であった



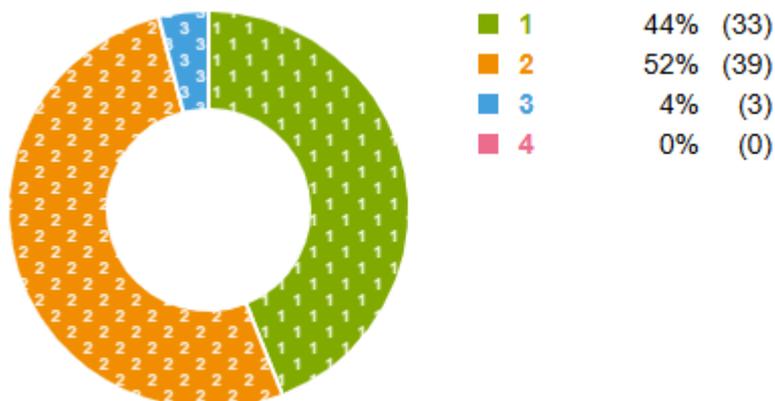
2)大学の感染拡大防止対策は適切であった



3)遠隔授業に関する学習環境への支援は適切であった

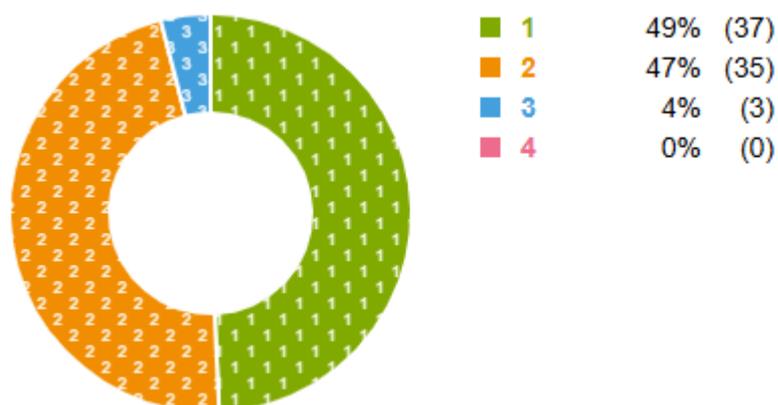


4)進学・就職に関する支援は適切であった

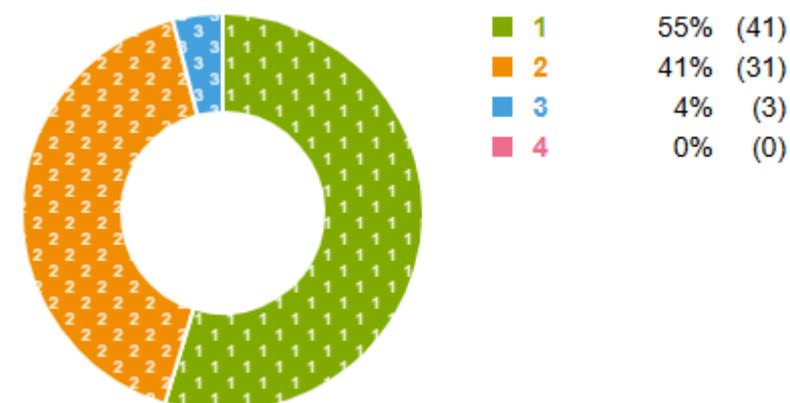


V 図書館に関する事項

1)図書館を活用して学修を進めることができた



2)図書館は学修を進める上で役に立った



3)本学の図書館の資料・設備・サービスについて概ね満足している

